

# みんなの ライフスキルタイムズ

ときどき発行 No.23 (2023.10.10)  
特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム  
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1-3F  
TEL 050-1742-4922 MAIL info@jiyd.org  
https://lionsquest-japan.org/

今年の夏は、全国で68回のワークショップを開催することができました。コロナ禍で実施できなかった対面研修ですが、コロナ前の実施回数に迫る勢いとなりました。全国のさまざまな場所における邪魔した講師が感じたワークショップの効果やポイント、実施例などを紹介します。普及活動や実践の参考にさせていただきます。

夏のふりかえり  
こんなワークショップ  
ありました！

## <すぐに使えるアクティビティ>

今年は4年ぶりに対面ワークショップの講師をしました。久しぶりのワークショップで気づいたことは、参加される先生方が若いということです。教育委員会やライオンズクラブの方々がワークショップに慣れていらっしゃるほど、若くて元気でやる気のある先生方が多くいらっしゃいました。その先生方は授業内容を決められる立場ではなくても、自分たちのクラスで行うアクティビティは決められるということで、今回のワークショップではエネジャイザーを模擬授業の代わりにやることが多くありました。結果的に、自分のクラスですぐ使える内容を得たと言って、嬉しそうに自信をもって帰られる先生方が多かったのが印象的でした。茨城県古河市では、参加者の先生が教育委員会の方に「古河に転勤してよかった」とワークショップに参加してコメントされたそうです。今後も現場が使えると思ってくださるワークショップをしていきたいと思えます。

佐渡 涼子

## 2023年7.8月 ワークショップ開催数

複合地区	開催数
330	3
331	1
332	4
333	13
334	10
335	18
336	4
337	15
計	68



## <効果的なワークショップが生まれる背景>

「良いワークショップとは、実践につながるものである。」というのが持論です。この夏、新潟市でのワークショップはまさに、「実践につながる」と思わせるものでした。何よりも、主催のライオンズクラブが学校のニーズを十分に聞き取られた上で、学校に役立つものとしてライオンズクエストを提案されたことです。学校長や研修主任も参加され、どうやって学校の課題に活かせるのが真摯に検討されていました。また、ライオンズメンバーも参加され、同じ目線で取り組んでいたのもよかったです。準備の折に、教頭先生とお話できたのも有益でした。学校の研究課題を把握して、ワークショップの内容を少し工夫できました。参加者が何を求めているのかを把握し、そこに寄り添った提案ができるかどうか、ライオンズクラブや私たち講師に大切なことであると改めて感じたところです。

寺本 之人

＜LQフォーラム北陸大会 in 富山 2023 の即効力＞

去る8月3日、大盛況の中で開催された大会は、主催である富山昭和ライオンズクラブのライオンズクエストへの情熱が詰まった一日でした。ライオンズクエストの素晴らしさを1人でも多くの方に理解してほしい、多くの学校でライオンズクエストを導入してほしい、導入を支援するライオンズクラブを増やしたい、という願いが込められていました。大会終了後に開催したワークショップには、市内の校長先生2名や導入を検討している市内小学校の先生方7名も参加されました。その小学校では既に12月に基本編・来年3月に実践編の開催が決定。さらに、その学校を支援するライオンズクラブの賛同を得て、富山昭和ライオンズクラブがノウハウを伝授。見事に大会の成果が花開いていきました！今後の普及拡大を大いに期待しています。

＜教育委員会に理解していただく早道＞

ここ数年、千葉県内で開催されるワークショップやセミナーにお邪魔しています。ライオンズクラブの熱心なご案内もあり、2022年開催にはワークショップ開催を検討していた浦安市教育委員会の方が市川市のワークショップや船橋市のセミナーに参加していました。そして、この夏、浦安市では教育委員会主催で2回のワークショップを開催！そこにも市教委担当が参加。また、2回とも教育長が見学されていました。来年以降の開催も期待できそうです。やはり、教育委員会の方にライオンズクエストの良さをご理解いただくには、ワークショップに参加していただくことが、早道だと痛感です。

柴 咲子



＜子どもたちに身につけたい力の共有＞

ワークショップで実施しているグループ活動の準備として、ワークショップ開始前の受付にて、「子どもたちに身につけたい力は？」という質問の回答を参加者のみなさんやライオンズクラブのみなさんに記入してもらいました。それらをライフスキルの理解を深める活動に活用しました。時間短縮、はじめから参加型、さまざまな立場の方の意見にふれるなど、多くの効果を実感。特に、ライオンズメンバーからは「自分もワークショップに参画している気持ちになる」とのご意見をいただきました。

＜ライオンズクエストプログラムを活用した薬物乱用防止教育＞

奈良県香芝市で実施したワークショップでは、教員ではなくさまざまな企業のみなさんやライオンズメンバーが参加されました。ライオンズクエストが目指すものの一つとして、『悪い誘いとうまく対処し、薬物に関わることなく成長することを支援する』があります。健康的なライフスタイル・責任感・勇気・自己規律という価値に基づき、正しい判断や意思決定、自己コントロールといったスキルを高めていくことは重要です。ライオンズクエストの教材を活用しながら薬物について考え、良くない誘い（内発的・外発的プレッシャー）に対処する授業案をモデル授業として実施しました。

寺西 勉



記事に掲載している写真は、2023年7.8月に実施したワークショップ等の様子です。記事の内容と関連していないこともありますので、ご了承ください。